

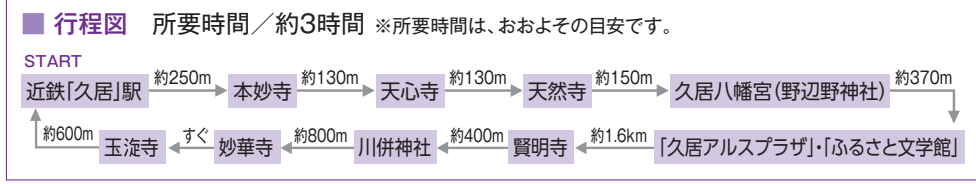
城下町の面影と古刹を訪ねる

津市 久居駅前周辺

久居のまちは、寛文9(1669)年に、津城主・藤堂高次公の二男・高たか通公が、幕府の許しを受けて五万石を分封されたことに始まります。翌年、野辺野と呼ばれるいた土地に、城陣屋や城下を開き、「永久鎮居」の願いをこめて久居藩と名付けました。現在の久居駅西口前周辺に当たります。今回は、久居藩の城下町の面影をたどりつつ、10以上の寺社を巡るコースです。

久居駅西口前をスタートし、久居寺町や久居本町など城下町の面影を残す町並みを歩き、学校や文化施設の多い久居東鷹跡町を通過して、遠くに山並が連なる田園風景を楽しめます。緑の多い一面を過ぎて、再び旧城下に入り、昭和レトロな雰囲気漂う道を通って、由緒深い寺社を巡り久居駅へ。歩いて行くうちに大きく風景が変化し、その移ろいがまちの歴史の重なりを感じさせる道のりです。久居のまちの今昔を味わいながら、楽しくゆったり歩きましましょう。

取材・文：堀口裕世



古風な寺町から

近鉄久居駅西口前の広場を出発し、信号で県道776号(久居停車場津線)を渡って、交番の手前を右折。久居新町から寺町に続く道に入ります。寺町は、名前の通りお寺がたくさんあり、古の面影を宿す町並みです。まずは左手に本妙寺の山門がお出迎え。続いて専琳寺があり、少し歩くと、右手の参道の奥に天心寺の山門が見えます。他にも近くには見性寺や超善寺などがあり、久居藩

開府の前後に開かれたお寺が多く、高田公のまちづくりの構想がしのべれます。寺町の交差点から旅籠町の方角に進むと、すぐに天然寺の山門があり、その脇には、「見上ぐれば月も今宵は天然寺」という久居藩公の句碑が立てられています。道を挟んでほぼ向かい合う位置にあるのが、久居のまちの惣鎮守・

久居八幡宮(野辺野神社)。そのまままっすぐ歩いて本町に入ると、古い建物が残る落ち着いた町並みです。この道は「奈良街道」と呼ばれ、昔、奈良方面から伊勢神宮への参詣者が通った道ということです。信号のある大きな通りに出たら右折



古い建物が点在する本町付近



本妙寺



天心寺



天然寺



久居八幡宮(野辺野神社)



「久居アルスプラザ」



「ふるさと文学館」



大きな並木のある道



田園の向こうに山並が続く

モダンな文教地区から 田園風景へ

この道を西へ進むと、風景ががらりと変わり、現代的な外観の「久居アルスプラザ」に出ます。ホールやアートスペースなど、文化芸術の創造拠点として令和2年に開かれました。その向かいにある「ふるさと文学館」はシックなたたずまいの図書館。ここで左折し、久居総合福祉会館の前で右折すると久居農林高校の横に出ます。校庭脇にある背の高い並木の道を進んで、誠之小学校の校門

脇でかぎの手になった道を曲がります。この辺りは、久居藩の武家屋敷があった地域で、かぎの手に曲がった道も、城下町のなごり。今は文化施設や学校の多い文教地区となっています。高校の農園と小学校の間の道を進んで行くと、県道15号（久居美杉線）に出ます。

この先へ直進すると、久居藩の陣屋跡がありますが、今回は左折し、県道を南の方向へ歩きます。竹藪の横を抜けると、左手には高校のグラウンドが見え、右手には田園風景が大きく広がります。遠くには布引山系の山並が幾重にも重なって爽

やかな景色です。そのまましばらく行くと、左脇の細道への入口に千手院賢明寺への道を示す看板がありますので、ここで側道に入り、看板の通りに進みます。林の中の坂道を登り、三叉路を右に曲がり、塀に沿って進むと、賢明寺の朱塗りの山門の前に出ます。

天平年間開基の古刹から 本町通りへ

賢明寺は、天平2（730）年に行基によって開基されたと伝えられる古刹で、「千手院の観音さん」として親しまれ、人

形供養のお寺としても知られています。北畠家の祈願所であり、高通の時代には藤堂家の祈願所となり、高通の寄進した灯籠なども残っています。

この山門の前で左折し、法専寺、大乘寺の前を通って、次に出会った道を左に曲がって川併神社に向かいます。

川併神社は「延喜式」に名のある古い由緒を持つ神社。町中にあるとは思えないような大きな木立が並び、心を鎮めてくれるようです。神社の参道から左手の道を回って、本町通りに入って行きます。この道は、先に通った本町通りの



川併神社

続きで、久居藩開府の頃にもありました。今は、懐かしい雰囲気のお店や布店など、昭和レトロの趣が残っています。

久居藩の菩提寺

信号のある交差点の一つ手前の道を右

へ曲がって、妙華寺・玉淀寺へ向かいます。妙華寺は天和元（1681）年開基の寺院で、寄せ棟造りの美しいお堂。玉淀寺は延宝7（1679）年、高通公が久居藩堂家の菩提寺として開き、瓦の家紋などにも菩提寺の風格が感じられます。初代高通公、2代高堅公の木像が安置され、高堅公や3代高陳公のお墓もこのお寺にあります。このお寺の脇を通る県道24号（松阪久居線）を北に進めば、ゴールの久居駅に戻ります。

問 津市久居総合支所 地域振興課

TEL 059-255-8846



賢明寺の山門



妙華寺



玉淀寺



境内の一画に藩主のお墓が並ぶ